

X-point

AI搭載ワークフローサービス利用ガイド

2025/11/17 版



はじめに

◆本書の目的

本書は、X-pointにてAI搭載ワークフローオプションの書類アシスタント機能を設定するために必要なシステムの設定について説明しています。本書をよくお読み頂いた上で設定作業を行ってください。

◆対象とする読者

本書は「X-point」のシステム管理者を対象としています。システム管理者とは「X-point」を運用するにあたり必要な設定および基本データの作成、維持管理を行なう本システムの管理権限を持つユーザーを指します。

また、[本オプションのサービス仕様書](#)をご確認いただける必要があります。

◆対応バージョン（2025/11/17時点）

X-point	備考
X-point v3.11 以降	書類アシスタント機能を利用するためにはAI搭載ワークフローオプションが必要です。

◆製品名について

本文中、「X-point Cloud」は「X-point」と表記しています。

また、各製品の名称は対応バージョンを省略してある箇所もありますのでご了承ください。

◆商標について

本書の一部、または全部を著作権所有者の許諾なしに、商用目的の為に複製、配布することはできません。

X-point、エクスポイントの名称およびロゴは株式会社エイトレッドの商標または登録商標です。

Microsoft、MS-DOS、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Macintosh、MacOS は Apple Computer, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。Adobe、Acrobat、Adobe Acrobat は Adobe Systems, Inc. の商標または登録商標です。ORACLE、Java、JavaScriptは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。デスクネッツ、desknet'sは株式会社ネオジャパンの登録商標です。サイボウズ、Cybozulはサイボウズ株式会社の登録商標です。Google、Googleロゴ、Google Appsは、Google Inc. の登録商標または商標です。クラウドサインは弁護士ドットコム株式会社の登録商標です。GMOサインはGMOインターネットグループ株式会社の登録商標です。

OpenAI、ChatGPT、GPT は OpenAI Inc. および OpenAI OpCo, LLC の商標および登録商標です。

その他、記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する会社の商標または登録商標です。本書では、©、®、(TM) の表示を省略しています。ご了承ください。

◆製作著作

©2025株式会社エイトレッド

はじめに	2
1. 概要	4
1.1. AI搭載ワークフローオプションでできること	4
1.2. 設定の流れと単位	4
1.3. トークンの消費	4
1.4. トークンの使用状況	5
2. 利用開始までの流れ	6
2.1. 対象のフォームを決める	6
2.2. bearerトークンの用意と専用サイトへのアクセス	6
2.3. 専用サイト内の手順補足	7
手順2のbearerトークンについて	7
手順3のフォーム定義入力について	7
手順3について	7
手順5について	9
手順6について	9
2.4. 動作確認と利用開始	9
3. 利用中のメンテナンス	10
4. 利用停止	10

1. 概要

1.1. AI搭載ワークフローオプションでできること

書類上から呼び出した書類アシスタントが会話の内容を踏まえた内容を書類上に反映してくれる機能です。

チャット形式で作成したい書類についてAIと会話

The screenshot shows a chat window titled '書類アシスタント' (Document Assistant) with a token usage indicator of 4.1% (203.5万 / 5000.0万トークン). The chat content includes:

- 起案者情報**
 - 所属部署: 技術本部 開発部
 - 氏名: 佐藤 花子
 - 社員番号: 202345
- 稟議回付先**
 - 技術本部
- 稟議件名**
 - 新規ソフトウェア購入の件
- 稟議の説明・詳細理由**
 - 開発効率向上のため、新規にプロジェクト管理ソフトウェアを導入します。現在使用中のツールでは機能不足があり、プロジェクトの進捗管理に支障が出ているため、業務改善と品質向上を目的としています。
- ①時期(購入時期)**
 - 2025.12.1~2026.11.30

At the bottom, there is a text input field and buttons for '送信' (Send) and 'フォーム反映' (Form Reflect).

確定した内容が書類に自動反映されて起票完了

The screenshot shows a document form titled '稟議書' (Memorandum) with a form number '申請No.'. The form contains the following information:

起案日	2025年11月17日	エージェント起動	
起案所属名		受付年月日	年 月 日
起案者名		社員番号	202345
稟議回付先	技術本部	書類ID	

Additional text in the form includes: '【選択必須】 稟議回付先は誤りのないよう、適切な承認先を選択して下さい。 ※カラー印刷は不可' and '件名: 新規ソフトウェア購入の件'. A detailed explanation of the request is provided in a text box, and a table at the bottom specifies the purchase period and approval options.

1.2. 設定の流れと単位

書類アシスタントを呼び出したフォーム毎に以下の準備を行うことで利用できる状態になります。

- 1) フォームファイル(.tsf)を元にエージェントを呼び出すJavaScriptを生成
- 2) 生成したJavaScriptをフォームに設定(書類アシスタントの呼び出し設定)
- 3) フォームをアップロード

1.3. トークンの消費

本オプションにてご契約いただいているトークンは以下のタイミングで消費されます。

- ・書類アシスタントを呼び出したタイミング
- ・書類アシスタントとの会話を行ったタイミング
※書類アシスタントウィンドウの「送信」
- ・書類アシスタントによって書類へ入力値を反映するタイミング
※書類アシスタントウィンドウの「フォーム反映」

上記操作の操作は、ユーザーサイトだけでなく、管理サイトやeFormMakerのプレビュー表示などでも上記の操作を行うとトークンは消費されます。

※書類アシスタントを呼び出すためのJavaScriptと同等の処理を行った場合などでも消費されます。

1.4. トークンの使用状況

書類アシスタントウィンドウの右上から「現在のトークン数」と「契約上限のトークン数」と「利用率」を確認することができます。

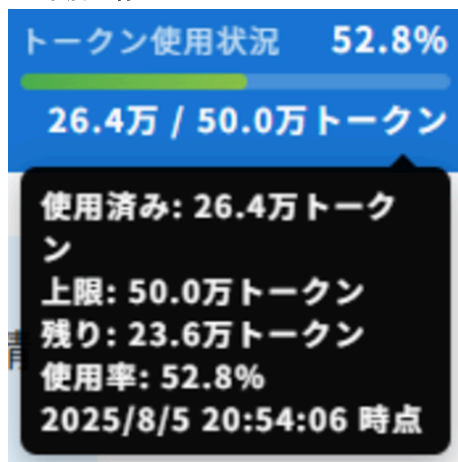
これらの使用状況は毎月1日の午前0時になるとリセットされます。



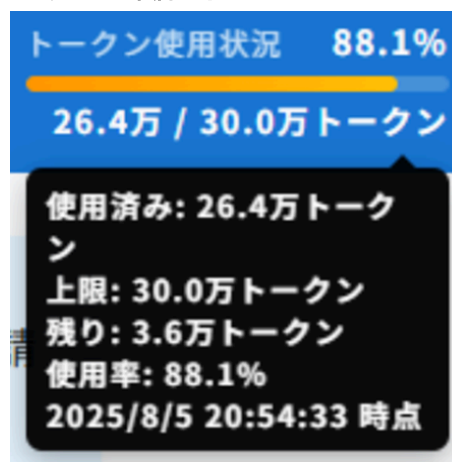
使用率が100%になると本オプション機能が使用できなくなります。
※エラーが発生するようになります。

トークンの使用状況によりゲージの色が変化します。
ゲージにカーソルを合わせることで詳細を表示することも可能です。

70%未満：緑



70%以上90%未満：オレンジ



90%以上：赤



2. 利用開始までの流れ

2.1. 対象のフォームを決める

書類アシスタントを利用したいフォームを決め、eFormMakerで開きます。
この時、書類アシスタント以外の設定が完了しているフォームを選んでください。
以降の手順にて生成するJavaScriptはフォームファイル内に記述されているフィールド情報を元にするため、作成途中のフォームを利用すると書類アシスタントに認識してもらえないフィールド情報などが正しく生成されません。

書類アシスタントにて利用可能なフォームやフィールドの詳細条件は以下のサービス仕様書からご確認ください。

- ・ [サービス仕様書 \(ATLED AI搭載ワークフローサービス版\)](#)
→ 「5. 機能仕様」

2.2. bearerトークンの用意と専用サイトへのアクセス

本オプション契約時に発行された「bearerトークン」を手元に控えておきます。

「bearerトークン」はオプション契約時のメールよりご確認ください。

※bearerトークンは半角英数字で構成される65桁の文字列です。

bearerトークンの準備ができたなら、以下のサイトへアクセスし、以降はサイト内の手順を順番に実施します。

- ・ https://faa-icyxk.gw.safeai.jp/agent/v1/builder_xp/index.html

X-point フォーム エージェント ビルダ & 組み込み手順

フォーム定義からクライアントJavaScriptの生成と組み込み手順ガイド

エージェント組み込み手順

1. eFormMakerを起動し、Agentを埋め込みたいフォームを開きます。
2. **クライアントJavaScriptを生成します。**
下記の入力欄に必要な情報を入力し、「生成」ボタンを押してください。

API BASEURL入力ボックス

APIのベースURLを入力してください(指示がない場合は、デフォルト値のまま構いません)

bearerトークン入力ボックス(ベンダーから受領した設定シートに記載されております。)

フォーム定義入力

tsfファイル読み込み

```
<?xml version="1.0" encoding="Windows-31J" ?>
<formset ver="1.0" rev="16" build="240327 (3380)" product="eFormMaker" gridstep="5"
xpoint="3.10.01,20250508">
<PAGE type="1" x="10" y="10" width="750" height="1050" backgroundcolor="#ffffff"
pdfx="0" pdfy="0" navilocation="east" formname="～申請書"...
```

eFormMakerの「コード」タブから、コピーした値を直接ペーストしてください。

「tsfファイル読み込み」ボタンから、tsfファイルをアップロードすることも可能です。

生成

2.3. 専用サイト内の手順補足

専用サイト内の記述に従って設定を進めてください。
本章では各手順の補足、及び画面イメージとなります。

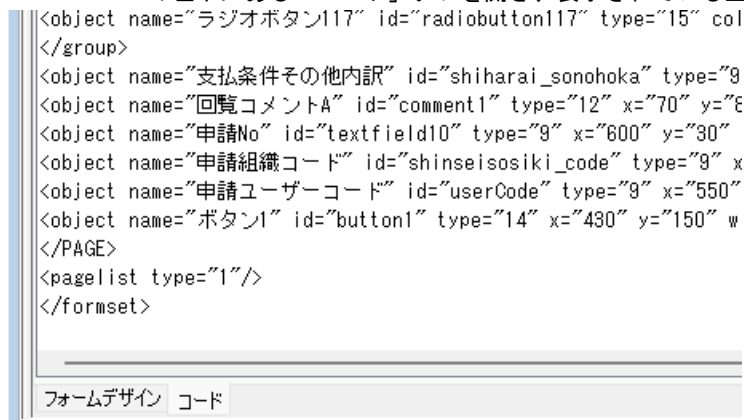
手順2のbearer トークンについて

「[bearer トークンの用意と専用サイトへのアクセス](#)」で用意したbearer トークンは
手順2の「bearer トークン入力ボックス」にて利用します。

手順3のフォーム定義入力について

eFormMakerの左下にある「コード」タブを開き、表示されている全ての内容を貼り付けてください。

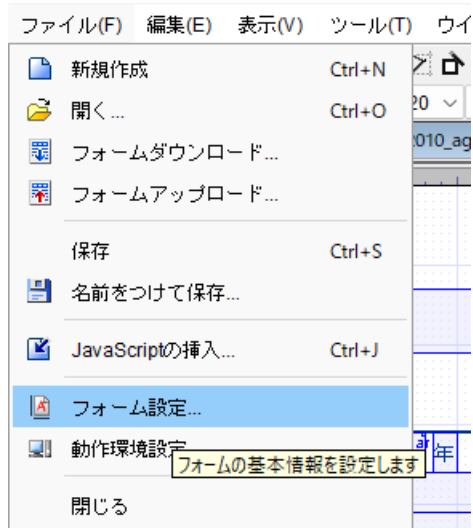
```
<object name="ラジオボタン117" id="radiobutton117" type="15" col
</group>
<object name="支払条件その他内訳" id="shiharai_sonohoka" type="9
<object name="閲覧コメントA" id="comment1" type="12" x="70" y="E
<object name="申請No" id="textfield10" type="9" x="600" y="30"
<object name="申請組織コード" id="shinseisosiki_code" type="9" x
<object name="申請ユーザーコード" id="userCode" type="9" x="550"
<object name="ボタン1" id="button1" type="14" x="430" y="150" w
</PAGE>
<pagelist type="1"/>
</formset>
```



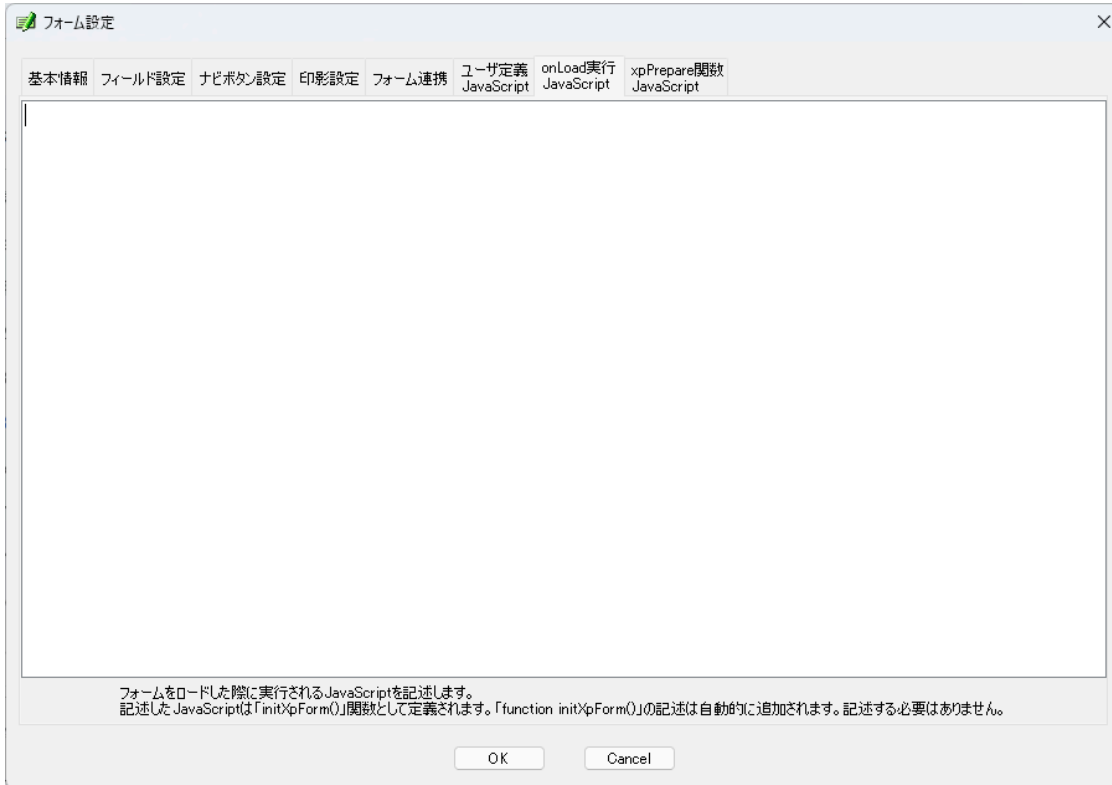
手順3について

クライアントJavaScriptは以下の画面より設定します。

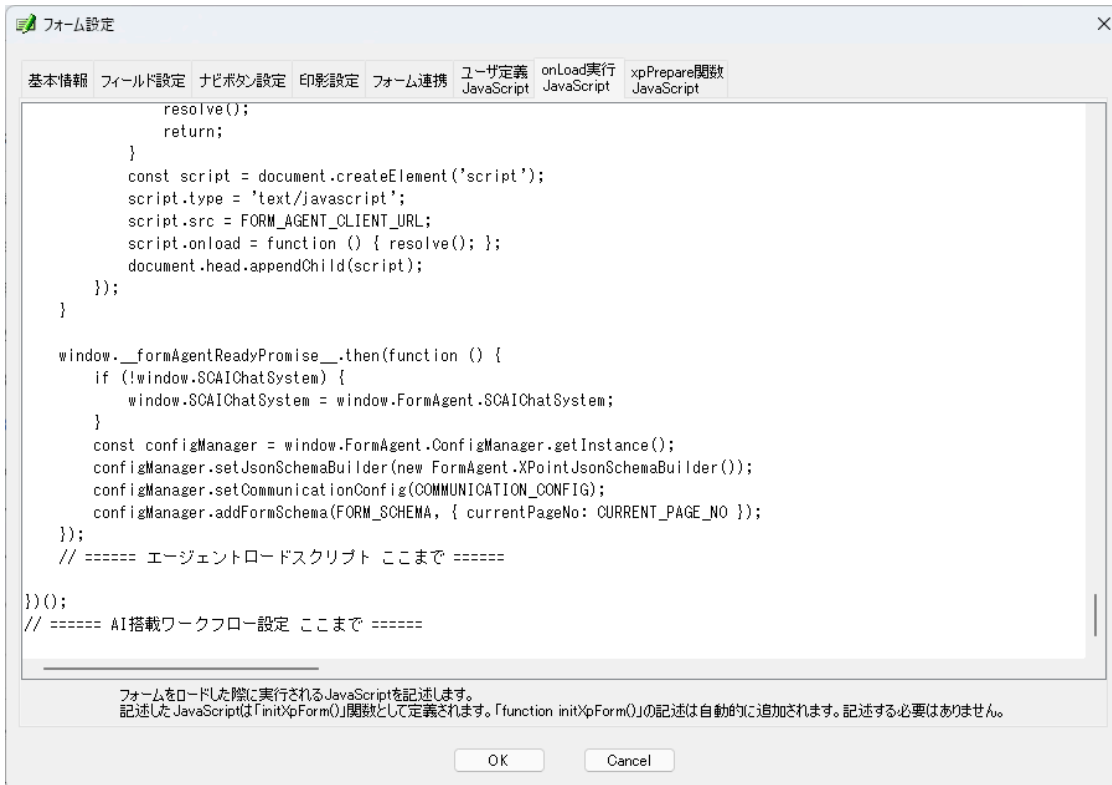
- 1) eFormMakerメニューバー > ファイル > フォーム設定



2) onLoad実行JavaScriptタブ



3) 設定後のイメージ



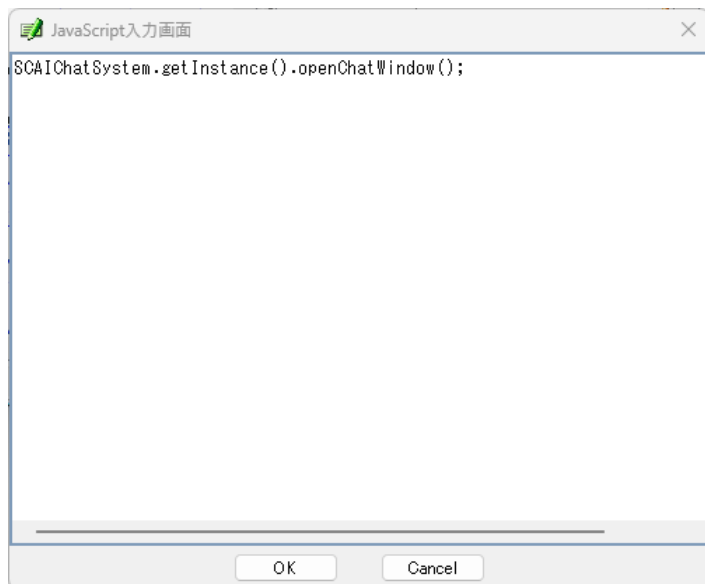
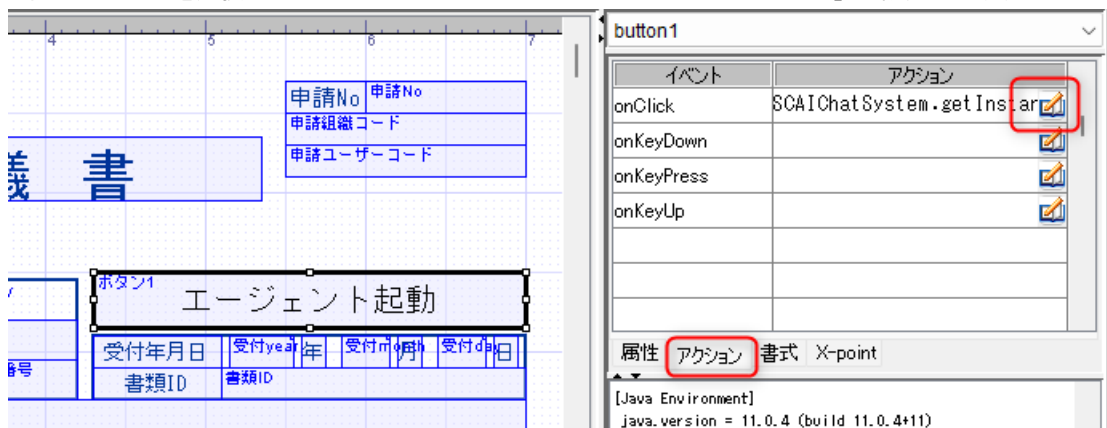
手順5について

起動ボタンはeFormMakerのボタンオブジェクトを利用します。



手順6について

配置したボタンを選択した状態でプロパティのアクションタブから「onClick」に設定します。



2.4. 動作確認と利用開始

フォーム設定ができればeFormMakerのプレビューで動作確認を行います。書類アシスタントの起動と会話、書類への反映動作の確認がとれたら、X-pointへアップロードし、利用者を想定した動作確認を行い、利用開始してください。

※eFormMakerのプレビューでもトークンは消費されます。

参照：[トークンの消費](#)

3. 利用中のメンテナンス

書類アシスタントを利用中のフォームを修正する場合、クライアントJavaScriptの変更が必要な場合があります。
※フィールドの位置やフォントサイズなど、格納される情報の構成が変化しない場合は不要です。

対象フォームを修正した場合、修正後のフォームで専用サイトの手順を再度実施してください。

※[bearer トークンの用意と専用サイトへのアクセス](#)

[専用サイト内の手順補足](#)

[動作確認と利用開始](#)

4. 利用停止

書類アシスタントの利用を停止したい場合は、対象のフォームから以下を削除してアップロードしてください。

- ・書類アシスタント用のクライアントJavaScript
※[手順3](#)について
- ・書類アシスタント起動用のボタン
※[手順5](#)について

なお、上記手順は本オプションの契約状況には影響しません。

■改訂履歴

改版	改版内容
2025年11月17日版	初版リリース